

The 699th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra
第699回 定期演奏会

アクセルロッド再登場!
充実のチャイコフスキー
天上からの歌声に包まれて、
森麻季「4つの最後の歌」

2025. 4.19 土
Sat, April 19, 2025 / 2:50PM

開演 午後2時30分(午後1時30分開演)

チャイコフスキー:
幻想序曲「ハムレット」op.67a

R. シュトラウス: 4つの最後の歌★

チャイコフスキー:
交響曲 第6番 短調 op.74 「悲愴」

Tchaikovsky: Hamlet, overture-fantasy op.67a

R. Strauss: Vier letzte Lieder★

Tchaikovsky: Symphony No.6 in B minor op.74 "Patbétique"

Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線北山駅下車
出口1・3番から南徒歩約5分

京都市交響楽団



指揮:
ジョン・アクセルロッド
Conductor: John Axelrod
©István Kohán



ソプラノ: 森麻季★
Soprano: Maki Mori
©Yujii Hori

開演前は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。

午後2時頃から

「プレトーク」は
ホールステージ上
にて開催します。



©京都市交響楽団

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

入場料 2025.2.15 から発売

●6,000円 ●5,500円 ●4,500円 ●3,500円 ●3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 [一般発売に併せて販売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書の提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。 ※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。 ※販売席数は限定。

U30 当日 [当日残席がある場合のみ発売] ●2,500円 ●2,000円 ●1,500円 ●1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書の提示が必要となります。 ※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。 電話や窓口での事前予約はできません。 席種は選べますが、座席指定はできません。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年4月11日までに京響075-222-0347へお申し込みください)

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書を提示ください)。

チケット

ご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> / Pコード 280-847
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> / Lコード 52285

お問い合わせ

京都市交響楽団075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催: 京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市

協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 699th Subscription Concert of 第699回 the City of Kyoto Symphony Orchestra 定期演奏会

2023年3月まで3シーズン京響首席客演指揮者をつとめたアクセルロッド。コンサートの幕開けには、シェイクスピアの戯曲を題材にした演奏会用序曲である「ハムレット」を配し、チャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」に繋がるドラマチックな曲目構成でお届けします。作品への探求とエネルギッシュな音楽づくりを身上とするアクセルロッドが京響との信頼関係をもとに生み出す音楽にご期待ください。

「4つの最後の歌」はソプラノの森麻季が登場。いろいろな声種で歌われる作品ですが、森はこの曲の録音を発表したこともあり、軽やかでどこまでも伸びやかに広がる歌声が、この曲に新鮮な息吹をもたらしてくれるに違いありません。

指揮

ジョン・アクセルロッド

Conductor: John Axelrod



©Istvan Kohan

ジョン・アクセルロッドは現代曲を含む幅広いレパートリー、革新的なプログラミング、そしてそのカリスマ性で世界各国のオーケストラから常に共演を望まれている指揮者のひとりである。ルツェルン交響楽団・歌劇場の音楽監督兼首席指揮者、フランス国立ロワール管弦楽団音楽監督、王立セビリア交響楽団音楽監督、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団首席客演指揮者、京都市交響楽団首席客演指揮者を歴任。また、2009年から2011年にはウィーン・コンツェルトハウスでのORFウィーン放送交響楽団との映画音楽ガラ・コンサート「ハリウッド・イン・ウィーン」の音楽監督も務めた。現在、スイス国立管弦楽団音楽監督兼首席指揮者、ブカレスト交響楽団首席指揮者。これまでにバイエルン放送響、ベルリン放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バリ管、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ローマ・サンタチェチーリア管、トリノRAI国立響、ロイヤル・ストックホルム管、オスロ・フィル、スウェーデン放送響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、さらにワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、シカゴ響、上海響等、これまでに150以上の世界各地のオーケストラを指揮、度々再招聘されている。オペラ指揮者としても意欲的な活動を展開、シェフを務めたルツェルン、ロワールでの数々のプロダクションはもちろん、パリ・シャトレ座、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ歌劇場での「キャンディード」の成功は特筆に値する。また、現代作品の紹介にも積極的に取り組み、カイヤ・サーリアホ、イェルク・ヴィトマン等の初演を手掛けている。レコーディングも数多く、グレッキ《悲歌のシンフォニー》、「Brahms Beloved」(ブラームスの交響曲、クララ・シューマンの歌曲を収録)は特に高い評価を得ている。最新盤はシューマン交響曲第4番の初稿と改訂稿をカップリングした“シューマン41/51”。アクセルロッドは、1988年ハーヴァード大学を卒業、指揮をレナード・バーンスタインとイリヤ・ムーシンに学んだ。

ソプラノ

森麻季

Soprano: Maki Mori



©Yuji Hori

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学し、P.ドミンゴ世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞を果たす。ワシントン・ナショナル・オペラ《後宮からの逃走》でアメリカ・デビュー。その後、ルイーダ指揮ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、エディンバラ音楽祭《リナルド》、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を得る。2015年兵庫県立芸術文化センターオペラ《椿姫》でタイトルロールを好演。鈴木優人指揮、パッハ・コレギウム・ジャパンと共演した歌劇《ボッペアの戴冠》(2017)、歌劇《リナルド》(2020)、歌劇《ジュリオ・チェザレ》(2023)、歌劇《魔笛》(2024)は各紙で絶賛された。2022年《椿姫》Bunkamuraシアター・オペラ・コンチェルトンテでヴィオレッタを熱演し喝采を浴びる。2023年BBCプロムスにデビュー。2024年山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団による歌劇《蝶々夫人》のタイトルロールは現地の聴衆の喝采を浴びる。コンサートではアッシュケナージ、テミルカーノフ、インバル、小澤征爾、パーヴォ・ヤルヴィ等の著名指揮者やNHK交響楽団、フランクフルト放送等の内外の主要オーケストラ、ドレスデン聖十字架合唱団と共演し成功を収める。透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマや2016年文部科学省主催WFSC公式イベントに出演するなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目を浴びる。デビュー20周年記念アルバム「至福の時〜歌の翼に」をリリース(エイベックス・クラシックス)。安宅賞、ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。国立音楽大学客員教授。東京音楽大学特任教授。

twitter : https://twitter.com/makimori_sop Facebook : <https://www.facebook.com/MakiMori.sop/>
Instagram : https://www.instagram.com/makimori_sop/

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から入場できる幅広い世代への演奏会、アウトリーチ、若い人達への楽器講習会等、多岐にわたる活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年から沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任した。2024年からはヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道！斬新！」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとして更なる発展を目指す。

次回予告

第 **700** 回
定期演奏会

2025.3/14(金)
から発売!



©Heinrich Horiger

記念すべき第700回定期は名匠ホリガーを迎えて

ホリガー作品、武満、シューマン「春」で華やかに

会場：京都コンサートホール 指揮&ピアノ：ハインツ・ホリガー

2025. **5.17** 土 午後2時30分開演
入場料 **■6,000円** **▲5,500円** **■4,500円** **■3,500円** **■3,000円**(舞台後方席)
U30(優待) **■2,500円** **▲2,000円** **■1,500円**

■曲 目 ホリガー：エリス—3つの夜の小品(ピアノ独奏版&管弦楽版) / 2つのリスト作品のトランスクリプション—「灰色の雲」「不運」
武満徹：夢窓(初演40周年/京都信用金庫創立60周年記念委嘱作品)
シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 op.38「春」